



## 令和元年度 河内長野市ボランティア連絡会組織

### 《企画運営部》

世話人会氏名	所属サークル	役割
向井 満子	要約筆記サークル「葉月」	世話人代表
村上 美代子	手話サークルさくらんぼ	部長
吉田 妙子	傾聴ラブハンドの会	副部長（会計）
稲川 美智代	手話サークルでのひら	書記
中林 千種	河内長野点訳サークル	部員
大北 幸子	すみれ会	部員

### 《広報部》

世話人会氏名	所属サークル	役割
大田垣 重行	河内長野音訳サークル「あい」	部長
須田 まゆみ	かわちながの字幕サークル	副部長
加茂 静夫	手話サークルさくらんぼ	部員
中畔 美代子	パレアナグループ	部員
松下 朝子	いきいき情報誌「輝く」	部員
河上 五十鈴	さざんかの会	部員
葛本 恵美	河内長野音訳サークル「あい」	部員
中山 裕子	手話サークルでのひら	部員

### 《その他の役職》

氏名	所属サークル	役職
山本 依子	手話サークルでのひら	社会福祉協議会理事
向井 満子	要約筆記サークル「葉月」	社会福祉協議会評議委員
向井 満子	要約筆記サークル「葉月」	大阪府市町村ボランティア連絡会会計監査

## 平成30年度（前年度）活動報告と令和元年度活動計画

### [平成30年度活動報告]

- ・毎月第一または第二火曜日に世話人会  
（5月は総会・全体会。12月は全体会を兼ねる。6月、11月は大掃除）
- ・参加行事
  - 5月 7日 大阪府市町村ボランティア連絡会総会
  - 5月 8日 総会・全体会
  - 9月18日 ボランティア連絡会交流会（ヤクルト工場見学）

- 11月13日 字幕付き映画鑑賞会「大統領のクリスマスツリー」
- 12月4日 全体会
- 12月10日 大阪府市町村ボランティア連絡会「テーマ別研修会」
- 2月14日 河南ブロック交流会
- 2月24日 第19回ボランティア市民活動フェスティバル
- 2月25日 大阪府市町村ボランティア連絡会代表者会議
- 3月12日 字幕付き映画鑑賞会「最強の2人」
- ・広報誌発行 ザ・ボル73号 74号 75号 プチボル7号

## 【令和元年度活動計画】

### 《世話人会》

- ・毎月1回（第1火曜日）に定例会を実施、ボランティア連絡会の運営
- ・企画運営部、広報部の円滑な活動に協力
- ・大阪府市町村ボランティア連絡会の研修等に参加
- ・河南ブロック交流会に参加
- ・赤い羽根共同募金、街頭募金活動に参加協力

### 《企画運営部》

- ・行事（年1回の交流会）などの企画、運営
- ・会計事務を執行
- ・会議などの文書の管理や配布
- ・ボランティアセンターの共同利用を調整し、年2回の大掃除を実施  
（1回目の大掃除は6月4日に行われました。2回目は11月に行う予定です。）
- ・字幕付き映画鑑賞会（年2回実施予定）

### 《広報部》

- ・「ザ・ボル」を発行（年3回を予定）必要に応じて「プチボル」を発行  
随時、世話人会の協力のもとで、必要な報告・公表を行う。

## サークルの紹介 【さざんかの会】



さざんかの会では毎週木曜日（午前11時から午後2時30分）に女性の方を対象に電話相談を秘密厳守で行っています。

また月1回、おもに第1木曜日に集まり、講師を招いて勉強会も行ってきましたが、今年の3月で講師の講義は終わりました。4月からは会員だけで今まで学んできたことや経験をもとに、新しい情報もキャッチしてみんなで話し合い、聴き合い、研修に取り組んでいきます。

当会では、平成28年度4月より「やすらぎサロン」を開いていましたが、平成30年6月に終了しました。参加していただいた各ボランティアの皆様、立ち寄って下さった方々、ありがとうございました。

今後も電話をしてくださる皆様方が元気になられて、持っておられる力を出してもらえるように、活動していきます。  
（さざんかの会 河上 五十鈴）

ボランティア連絡会代表 向井 満子

午前中、新旧役員会が開かれ、今年度から当市は会計監査の任（輪番制）を受けているので出席し、午後の総会の打ち合わせをしました。視野が広がるいい機会だと受け止めています。

当日も早速、門真市の方と昼食を共にすることができ、同じ手話仲間だとわかり会話もはずみました。

総会では、会計監査2名（泉南市・当市）は当日の発言はなく「ほっと」しましたが、広い会場と多人数を前にして緊張しました。



【講演会】 テーマ「ボランティア連絡会とボランティアセンターとの協働について」

講師:新崎 国広氏  
(大阪教育大学 教授)



ボランティア連絡会の意義とは、「ボランティア活動の内容は、“十人十色”、“みんな違ってみんないい”でも、ここは一つ社会的孤立をなくし、共に生きる社会を目指すこと！

ボランティア連絡会は、日頃から、ボランティア同士が手をつなぎ合うこと（顔の見える関係づくり）が大切。等々話されました。

最後に、新崎（アラサキ）氏は手話表現でボランティアって、「共に歩く」と表現する。今まで「共に歩く」それでいいと思っていたが、より深くもっと多くの人たちと共に笑顔になるように。それがボランティアだと言い、ボランティアをやっている人、今が青春だが、若い人に繋げるために活動してほしいと締めくくられました。

【実践報告】 柏原市ボランティア連絡会

柏原市の報告のテーマは、「柏原市ボランティア連絡会と社会福祉協議会の協働について」副題に「コラボ作戦展開」とあり、ボランティア団体同士、あらゆる団体同士のコラボ、大人だけでは参加しにくい、子どもが参加すれば人も増え、次世代に繋がる考えも、「コラボ」という言葉が記憶に残りました。

高石市ボランティア連絡会

高石市の報告のテーマは、「みんなで創って、みんなで楽しもう おしゃべりカフェ」昭和63年ボラ連発足と同時にスタートし、その後展開し、平成26年時には月4回の開催で、年間800~900人の参加があるとのこと。毎回いろいろ工夫しているようですが、参加人数の多さに感動しました。

【編集後記】

令和、最初のボルをお届けします。世話人代表としての4年間、皆様温かいご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。人生の思い出に残る、楽しく、貴重な体験でした。心より御礼申し上げます。

さて令和元年は世話人代表はじめ一部メンバーも入れ替わり、一同、新たな気持ちで取り組んでまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

広報部部长 大田垣重行

